

# ポートフォリオの構築状況

ー巨大な世界市場を舞台に成長を続ける日本のコンテンツー

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド  
愛称:エンタメ∞ニッポン 追加型投信/国内/株式

➤ 平素は「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド(以下、当ファンド)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドのポートフォリオの構築状況についてご紹介します。

## ポートフォリオの構築状況について (2025年10月2日時点)

### ポートフォリオの構築

当ファンドは9月26日の設定後、速やかにポートフォリオの構築を進めています。ポートフォリオは流動性の高い大型株を中心に組み入れ、流動性の低い銘柄については、マーケットへの影響を考慮しつつ、段階的に組み入れを進めています。10月2日時点における「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株マザーファンド(以下、マザーファンド)」の株式組入比率は91.1%、組入銘柄数は38銘柄となっています。

ポートフォリオの組入状況については、時価総額が1兆円以上の大型株が全体の44.9%を占めており、次いで時価総額が1,000億円以上～1兆円未満の中型株が41.5%の組み入れとなっています。業種別では、ゲームやメディア関連銘柄の組み入れが多いことから、情報・通信業が全体の43.6%を占め、その他製品が13.8%となっています。

### ポートフォリオ構築のポイント

ポートフォリオ構築のポイントは以下の3点です。

#### ① コンテンツの認知力・ブランド力

世界的に知られたアニメやゲームなど強力なコンテンツを保有・活用できる企業は、ライセンスや商品化など多角的な収益機会があり、ブランド力の強さが持続的成長の基盤となります。

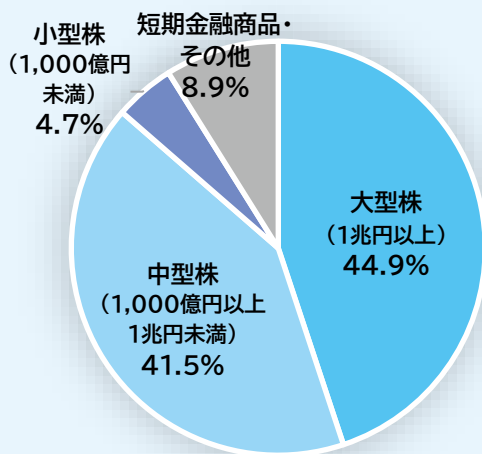
#### ② 海外展開力

コンテンツを世界展開する力は、成長を大きく左右する要素です。アニメ配信やゲーム、イベント、グッズの世界展開を通じ、海外で高い成長が期待できる企業を重視しています。

#### ③ イベント等のタイミング

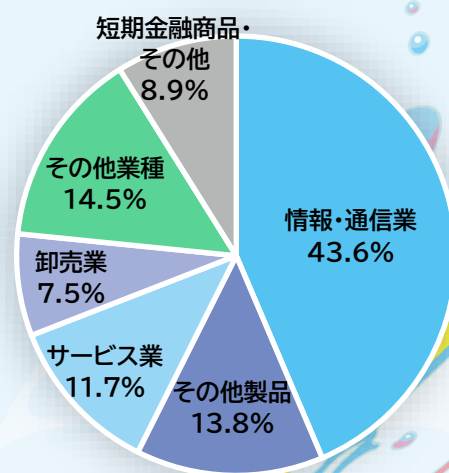
コンテンツ関連株は新作アニメの公開や、ゲームの続編発売など、イベント等によって評価が変動します。こうしたイベント等のタイミングを丁寧に見極め、株価バリュエーションを考慮し、投資配分を決定することで収益機会の最大化を目指します。

図表1 ポートフォリオの企業規模別構成比率  
(2025年10月2日時点)



※時価総額は当レポートにおける分類  
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率  
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合があります。

図表2 ポートフォリオの業種別構成比率  
(2025年10月2日時点)



※業種:東証33業種分類  
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率  
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%とならない場合があります。



## 組入上位10銘柄の注目ポイント

2025年10月2日時点のマザーファンドにおける組入上位10銘柄、及び投資に当たっての注目ポイントは以下の通りです。

|    | 銘柄              | 業種     | 組入比率 | 注目ポイント                                                                                                         |
|----|-----------------|--------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | ソニーグループ         | 電気機器   | 5.9% | ゲーム・音楽・アニメ・映画など、複数のエンタメ領域で高収益なビジネスに注力。従来から強みを持つ高度な技術と融合させることで、付加価値の高いエンタメ事業をグローバルに展開し、今後のさらなる成長が期待される。         |
| 2  | 任天堂             | その他製品  | 5.9% | 元々は「ゲームキューブ」や「Wii」などゲーム機開発会社として評価されたが、近年はマリオやポケモンなどゲームキャラクターが映画やテーマパークなどでも親しまれており、ゲーム機開発会社からIPカンパニーとしての評価が高まる。 |
| 3  | サンリオ            | 卸売業    | 5.6% | 国内ではインバウンド人気が売上を牽引。海外では「ハローキティ」に加えて「シナモロール」や「クロミ」など複数のキャラクターの人気が高まり、成長スピードが加速。                                 |
| 4  | バンダイナムコホールディングス | その他製品  | 4.9% | ガンダムを中心とした人気コンテンツを保有するとともに、ワンピースやドラゴンボールなどの他社のコンテンツのグッズ化などコンテンツの展開力に強みを持つ。                                     |
| 5  | 東宝              | 情報・通信業 | 4.9% | 映画ビジネスをコアに、近年ではアニメ制作などのコンテンツの創出にも注力。米国のアニメ配給会社 GKIDS を2024年に買収するなど、今後は海外展開に期待。                                 |
| 6  | サイバーエージェント      | サービス業  | 4.8% | ABEMAという自社メディアを保有しており、グループ企業のCygamesを通じてゲーム事業も展開。ABEMAの視聴者数が増えてきたことにより、今後はゲーム事業とのシナジー効果が期待される。                 |
| 7  | 東映アニメーション       | 情報・通信業 | 4.1% | 海外で人気が高いドラゴンボールやワンピースのアニメの著作権を保有しており、海外からのロイヤルティ収入の増加が続いている。著作権ビジネスの更なる成長に期待。                                  |
| 8  | オリエンタルランド       | サービス業  | 4.0% | 東京ディズニーリゾートではエリアやアトラクションのリニューアルが続くことによるテーマパーク事業の収益拡大に期待。ディズニー・クルーズの導入による新たな収益源にも期待。                            |
| 9  | カプコン            | 情報・通信業 | 3.9% | バイオハザード、モンスターハンターなどの人気ゲームを展開。每期10%増益を経営目標とし、保有コンテンツの多面的な展開を進める。ゲーム会社の中でも業績の安定度が高い点にも注目。                        |
| 10 | 日本テレビホールディングス   | 情報・通信業 | 3.8% | 傘下にスタジオジブリやマッドハウスなどのアニメ製作スタジオを抱える。2033年度にコンテンツビジネスの売上高構成比を40%以上にまで引き上げる方針を示しており、ビジネスモデルの変化に期待。                 |

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率

\*各銘柄における作品等は、参考情報として記載したものであり、当ファンドに関与していません。

# 銘柄紹介



## ANYCOLOR

### 新しい時代の新しい形のエンタメ企業

ANYCOLORは、国内最大級のVTuberグループ「にじさんじ」を運営する企業です。VTuber(Virtual YouTuber)とは、アニメ風のキャラクターを用いて配信活動を行う新しいエンターテインメント形態で、ライブ配信や歌、ゲーム実況などを通じてファンと交流を築きます。同社はこの分野を先駆的に開拓し、YouTubeを中心に幅広いファンを獲得しています。

2022年の上場当時、営業利益は約42億円でしたが、2025年には約163億円へと急拡大。わずか3年で約4倍に急成長しました。ライブ配信に加え、グッズ販売やイベント運営など事業を多角化し収益基盤を強化しているほか、英語圏やアジアなどへの海外展開も加速しており、今後も高成長が期待されます。

### ANYCOLORの魅力

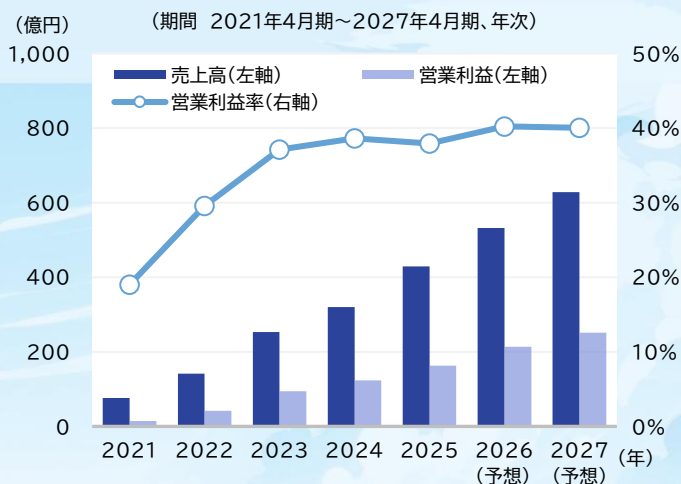
#### 高い収益性と還元力

ANYCOLORの最大の特徴は、その高い収益性にあります。2025年4月期の営業利益率は約38%と、製造業やサービス業の平均を大きく上回る水準を実現しています。原価率の低いデジタル配信を中心としたビジネスモデルで、安定的かつ高水準の利益を確保しています。また、設備投資や在庫負担が少ない業種特性から手元に現金が残りやすく、中期経営計画では3年間で株主還元を300億円以上実施する方針を掲げています。新興企業でありながら、成長と株主還元が両立できている点は大きな魅力です。

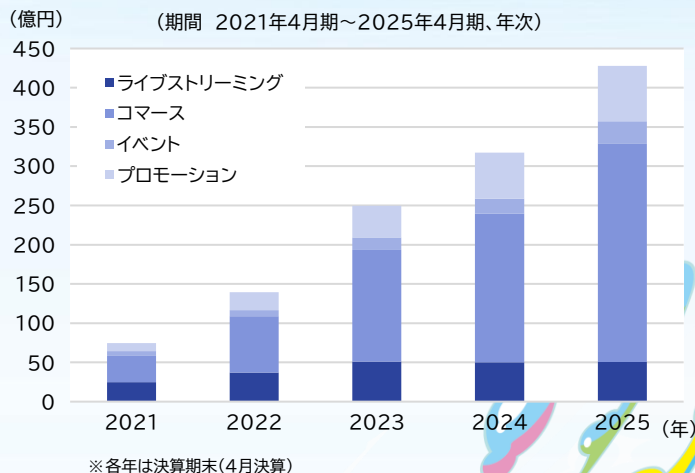
#### 進化し続ける事業ポートフォリオ

同社の収益の中心はライブ配信でしたが、近年はグッズ販売やイベント、プロモーションなどへと広がり、収益基盤の多角化を進めています。特にファンコミュニティの拡大によって若年層を中心とした訴求力が高まっており、企業タイアップなどのプロモーション分野には大きな成長余地があります。海外展開や新規ライバーの投入といった材料に加え、周辺ビジネスの拡張によって事業の収益機会は増えており、長期的な成長ポテンシャルは高いと見ています。

図表3 売上高、営業利益の推移



図表4 セグメント別売上高構成比率



図表5 株価の推移



\* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

(図表3-5の出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

## 販売会社一覧

2025年10月8日現在

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。  
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

| 商 号          | 登 録 番 号         | 加 入 協 会 |                     |                     |                        |
|--------------|-----------------|---------|---------------------|---------------------|------------------------|
|              |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問業協会 | 一般社団法人<br>金融先物取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品取引業協会 |
| (金融商品取引業者)   |                 |         |                     |                     |                        |
| 岡三証券株式会社     | 関東財務局長(金商)第53号  | ○       | ○                   | ○                   | ○                      |
| 岡三にいがた証券株式会社 | 関東財務局長(金商)第169号 | ○       |                     |                     |                        |
| 株式会社証券ジャパン   | 関東財務局長(金商)第170号 | ○       | ○                   |                     |                        |
| 三津井証券株式会社    | 北陸財務局長(金商)第14号  | ○       |                     |                     |                        |

委託会社  
お問い合わせ先

電話番号  
03-3516-1300（営業日の9:00～17:00）

ホームページ  
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

## ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンドに関する留意事項

### ■ 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。  
ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「流動性リスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

#### 留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

### ■ お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。
  - 運用管理費用(信託報酬)：純資産総額×年率1.628%(税抜1.48%)
  - その他費用・手数料：監査費用[純資産総額×年率0.011%(税抜0.01%)]
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。  
(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに応じた場合は、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。